

令和5年度 第10回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和5年11月28日(火) 19:00開始

2. 場 所 ZoomによるWeb会議

3. 出席者 理事18名中、18名(開会時点出席15名、
途中出席3名)、監事2名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、石川 伸男、多氣 洋平、仁賀 建夫、
中村 真理、永井 祐司、平尾 豊、柿田 亜矢子、奥田 好廣、
久保 克敏、高瀬 美保、箸本 明雄、埴岡 隆、小林 真由美
(途中出席) 奥田 竜子、安枝 和子、桜木 由美子

(監事) 花野 信子、清水 美音子

4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事18名の内15名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、財務総括部 萬納部長、総括部内山副部長、吉満事務局次長の出席、及びオブザーバーとして正会員・有識者代表のHJL真理事長の出席が報告された。

(2) 定款第38条に基づき三須和泰代表理事が議長に選出された。

(3) Zoom会議により出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

6. 審議事項

① 第一号議案 中間決算報告

財務総括部萬納部長から、令和5年度中間決算について配付されている中間決算報告書の貸借対照表、正味財産増減計算書及び中間収支報告書（説明用）の資料にもとづき、説明が行われた。なお11月13日にみなと公認会計士事務所の確認も行われ、特に指摘はなかったと話があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

② 第二号議案 令和5年度 第2次補正予算の件

財務総括部内山副部長から配付されている第2次補正予算（案）資料にもとづいて説明が行われた。奥田好廣理事から「赤字解消はできないのか？」との質問があり、内山副部長から、「寄付金の目標達成で赤字解消を目指していたが現状は厳しい」と回答した。HJL 真理事長から「資金が枯渇することは無いのか？」との質問があり、内山副部長から「資金が枯渇することは無い。令和6年度予算が黒字で組むことが一番の課題である」と回答した。奥田好廣理事から「24年8月の銀行返済の資金はあるのか？」との質問があり、内山副部長から「返済については問題ないが、再度、あらためて金額を借り入れる可能性は高い」と回答した。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議なく承認された。

③ 第三号議案 ホッケー日本代表国際強化マッチ仮決算の件

坂本事務局長から配付されている資料にもとづき説明が行われた。

説明後、奥田好廣理事から「本資料は実行委員会に諮った上で理事会にかけるべきである。大会後の実行委員会の開催もなく反省会もされていない。収入、支出、観客動員の問題点など実行委員会で話し合いをして理事会にあげるべきだと思う」との意見があった。石川専務理事から「実行委員会で先に諮るべきと考えていたが本資料が直近に上がってきており先に実行委員会に諮る時間がなかった。いずれにしても実行委員会で反省会はするべき」と回答した。HJL 真理事長から「他の大会も観客数が少ない。トップ選手のゲームを見ることも練習になる。実行委員会ではそういうところに働きかけるべきである」との意見があった。北

野副会長から「各大学に働きかける工夫はあったのか？」との質問があり、坂本事務局長から「各大学への働きかけを行った。カナダのチームは、慶応大学にも訪問した。学生ボランティアにも協力してもらった」と説明があった。小林理事からは、「観戦した学生も以前よりきてくれたと感じている。ただしトップ選手とは違うと思っている学生もいるため、代表選手と学生を繋ぐことを考えていきたい」と意見があった。最後に坂本事務局長から「JSCに提出する確定した決算書は実行委員会へ報告する」と説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議なく承認された。

④ 第四号議案 女子全日本選手権大会カップの増設の件

坂本事務局長から増設するカップの名称3案について説明があった。審議では、出席者の意見が分かれたため、三須会長から、「役員全員にアンケートを送り、その結果をもとに業務執行理事で話し合いを持ち、早めに決定したいと思うがどうか？」との提案があった。異議がなかったため、三須会長提案の内容ですすめることとなった。平尾理事からは、大会プログラム作成の関係で12月4日週の後半までには決定してほしいと話があった。

⑤ 第五号議案 役員選考規程の改定の件

箸本理事から令和5年9月29日付けでスポーツ団体ガバナンスコードが改定されたことを受け、本協会の役員候補者選考規程における役員候補者選考基準について、スポーツ団体ガバナンスコードの定める原則を反映した内容に改定すると、配付されている資料にもとづき説明が行われた。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議なく承認された。

⑥ 第六号議案 利益相反取引の件

坂本事務局長から、利益相反管理規程に定める利益相反取引に該当する3件について、配付されている資料にもとづき説明があった。

審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議なく承認された。

7. 報告事項

① 令和6年度予算策定に関する考え方について

石川専務理事から配付されている資料にもとづき説明が行われた。永井強化本部長からは、「FIHのランキングに係わる大会が毎年男女1回ずつ、AHF連盟の大会が毎年男女1回ずつ、U21のJrワールドカップの本戦か予選が毎年1回ずつあり、これは最低限参加しなければならない大会であるためこの大会に出るだけで予算はほぼ使い切ることになる。参加者負担金を徴収しないとならない状況であると話があった。

② 登録料の改定について（議論）

内山財務副部長から配付されている資料にもとづき説明が行われた。高瀬理事からはスポーツ少年団にも登録料がかかるため二重の徴収になり意見が出ると思われると話があった。平尾理事からは、過去から技術委員会で検討されてきていると話があった。奥田好廣理事からは、各部門の関係者を集めて議論が必要であると意見があった。今後進め方については検討することとなった。

③ 愛知・名古屋アジア大会 スポーツコーディネーターの推薦

多氣本部長よりスポーツコーディネーターの候補者として永井東一氏を推薦すると報告があった。奥田好廣理事から、質問が出たため、別途、個別に打合せをすることとなった。

④ タスクフォースの設置

北野副会長から配付された資料にもとづき説明が行われた。

⑤ 業務執行理事の職務執行状況報告（8月～11月）

石川専務理事から配付された資料の案内があった。

⑥ 100周年記念式典準備状況の報告

仁賀本部長、柿田理事から現在の案内の状況について、配付されている資料にもとづき説明が行われた。

⑦ アンチドーピング委員会のインテグリティの取組について

埴岡理事からアンチドーピングの処分とは別に、日本ホッケー協会としての処分を検討する必要があると説明があった。

⑧ 役員選考に関する流れについて

石川専務理事から、2024年総会改選までの役員選考についての流れについて説明があった。

⑨ 次回、理事会の予定について

石川専務理事から、次回の理事会を2024年1月27日（土）13時から、対面とオンラインの併用で開催すると報告があった。

⑩ 寄付金の募集について

石川専務理事から、寄付金募集の状況について報告があった。理事にも再度の協力依頼があった。

⑪ スポーツ団体ガバナンスコードについて

箸本理事から、全役員へスポーツ団体ガバナンスコードのファイルを事務局から送らせてもらうとの報告があった。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は21時20分、閉会を宣言した。